



<ごあいさつ>

皆さまには日頃より温かいご支援を戴き、心より御礼申し上げます。

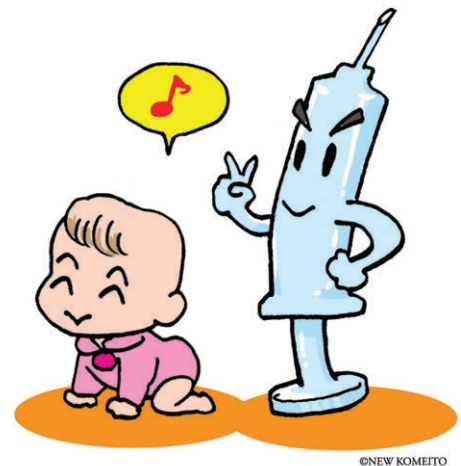
さて、区議会も第2回定例会が閉会しました。今議会では、会派で要望、提案しておりました長寿応援ポイント事業、ヒブワクチン接種費用一部助成等に関する平成21年度一般会計補正予算第2号などを可決しました。いまだ景気回復の兆しの見えない中、区民の皆さまの生活を守るため、全力で様々な施策実現に取り組んでいます。

ヒブワクチンの公費助成が実現

インフルエンザ菌b型(Hib)によって、細菌性髄膜炎等の重篤な感染症を年間約1000人の生後3カ月から5歳ごろの乳幼児が発症、約5%が死亡し、約25%に後遺症が残ります。

山田区長に対し会派として、5月にヒブワクチン接種への公費助成を要望していました。

今回、8月よりワクチン接種費用に対し、1回あたり4000円、一人最大4回までを公費助成することが決定しました。



緊急経済対策「なみすけ商品券発売」



杉並区商店会連合会が、区内経済の活性化と消費の拡大を目的に、区の補助を受け、10%のプレミアム付区内共通商品券として、総額5億5千万円の「なみすけ商品券」を5月に発売。予想を上回る反響があり、即日完売となりました。

10月にも同額の規模で発売されます。

待機児解消へ

今年度も残念ながら多くの待機児が出てしまいました。会派としても昨年、対策について緊急要望をおこないましたが、待機児解消のための緊急対策として今年度予算に計上され、区独自の保育室開設に全力で取り組み、8所(直営5所・委託型3所)が緊急整備されました。